



会報

第 42 号

発行年月日 2021年5月
発行人 会長 岩本 健一
編集者 黒沢 純一
金子 智久
大久保直子

日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川2-12-4
〒112-0002 TEL 03-3813-7354
題字 山内 貞史郎

<http://www.shiatsu-obog.com/>

いっひの話

日本指圧専門学校同窓会会長

岩本 健一



日本指圧専門学校
同窓会のロゴマークです。
デザイン：鈴木啓太(49期)



2019年から3年をまたいで武漢肺炎に苦心することになるとは思ってもいませんでした。

ヒト感染インフルエンザ原因Virusが一つ増え、4つになった訳です。世界中の感染の収束を祈念しています。

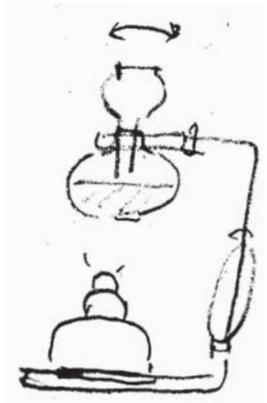
さて、私達が初めて動作をする時、気がつくことは、「こつ」があるねということ

です。
(1)7年ほど前、コーヒー・サイフォンを頂きました。

これまで、ろ紙で過ごしてきたので、燃料用アルコールも購入して早速淹れてみました。

さて、できあがり あれえ上の瓶と下の瓶が離れない。いろいろ知ってる小学校以来の友Oくんに電話です。

「うーん、あのね コーヒサ



こつなんだ。
MT車は左右の足の協調動作ができません。エンストします。手足の協調動作が運転者自身で分かれます。

「あ、左右にかしげると取れるよ。」
「あ、左右にかしげると、あらっ！簡単に取れました。「こつ」だね。」

味わいが、ちがいました。気分によって使っています。

(2)私は車の運転が大好きで、もう29年間も同じ車に乗っています。MT車です。

一昨年の2019年 保土ヶ谷バイパス 下川井インターで降りようと、5速から4速にギアを落とそうとしたが、入らない。(シンクロ・ギヤがへたってきたのかな)など思いながら、クラッチを踏んだまま、まず3速に入れ すばやく4速に入れる。OK!

MT車で言われていること ギヤが入りにくい時には 低いギヤに一度入れてから 目的のギヤに入れると大抵入る。

年配者に最適です。

(3)泳ぎは、小4から始まった、夏休みの臨海学校で覚えました。昭和31年。まだ埋め立て前の、横浜磯子の浜小学校は校庭から続く斜面が砂浜で海でした。

平泳ぎのこつは、手の掻きと足蹴りの同期でした。手をゆっくり掻いて、掌が肩を下がった時期に足をグーンと延ばして足底で水を蹴るんです。ゴムのかえるおもちゃのように、同時に伸ばしたり縮めたりしても遅いんです。6年生の夏にはだいぶ速くなりました。

(4)指圧実技 故鈴木林三先生が、強調なさいました。「力を抜いて圧す！」

1年生前期の頃、くたびれるだけで意味が分かりませんでした。後期になって掴めました。

さあ、今日も、ちょっとだけ、新しいことをしていきましょうか。

今年も私達の同窓会は、いろいろな事に挑戦します。卒業生の皆様、こぞってご参加ください。

令和3年度活動

日本指圧専門学校同窓会 会長 岩本 健一

令和3年度の同窓会活動について

新型コロナウイルス感染症終息の見

通しのたためま結局何も活動できず
に令和2年度を終えてしまった反省に
立ち、令和3年度は新型コロナウイルス
感染症の終息後も新たな感染リスク
に対応することが当たり前の社会と
なることを想定した同窓会の活動様式
を模索してまいります。新型コロナウイルス
イルス感染症による社会リスクは同窓
会の従来型活動様式を根底から見直す
必要性を問い、同窓会活動の今後の課
題についても根本的に整理し、見直す
「切っ掛け」となりました。令和3年
度に臨むにあたり同窓会は以下の観点
にたち同窓会活動の活性化を目指して
まいります。

感染症環境下でも持続可能な新 規活動の掘り起こし

令和3年度より同窓会が保険者とな
り施術者を対象とする傷害保険の取り
扱いを開始いたします。この活動によ
り同窓生にとって同窓会の新しい価値
の充実を図ります。新年度より新卒
の卒業生を対象に保険取り扱いを開始
し、順次全同窓会員を対象に保険取り
扱いを拡充してまいります。(詳細は
同窓会HP参照)

指圧勉強会の開催

令和2年度は従来型指圧勉強会を複
数回計画し開催予定日の公示もしてお
りました。また文化部の活動も計画し

ておりましたが、いずれも新型コロナ
ウイルス感染症の影響で全て中止せざ
るをえませんでした。令和3年度は感
染症リスクに対応したオンライン勉強
会を同窓会会員に提供いたします。同
窓会前会長の川原善次郎先生、日本指
圧専門学校治療部で10年の実績のある
大澤昌裕先生に講師をお引き受け頂い
ております。(運営詳細は同窓会HP
参照)

首都圏と他県との距離的課題へ の取り組み

初期段階では首都圏でオンライン勉
強会を開催しますが、段階的に他県を
視野にいれた展開を計画します。感染
症対策も含めてこれによりこれまでの
首都圏と地域との距離的な課題を徐々
に解消していくことができるよう運営
基盤(オンライン交流の実務を担う人
材等)を構築してまいります。

上記の傷害保険への取り組み、オン
ライン勉強会は新年度開始にあわせて
同窓会HP等にご案内させていただきます。

新規事業となりますので運営に滞り
等が生じることも予想されますが、走
りながら修正、前進してまいりますの
で何卒皆様のご理解とご支援をお願い
申し上げます。皆様のご健康とご
活躍をご期待申し上げて同窓会活動の
ご報告とさせていただきます。



卒業生第62期代表からのひと言メッセージ

浪越で学んだ事

A組 橋本 彩花



私はマッサージについて学びたいと思い専門学校を調べていたら、あん摩マッサージ指圧師という国家資格があることを知り幾つかの学校を調べた結果、学校にいた生徒の雰囲気がよく、日本指圧専門学校に決めました。

入学式の日、高校時代とはまったく異なる環境で更に先生からは勉強は大変だと言われ不安でした。授業が始まって勉強は難しいものの自分がやりたいこと

今、この時に学べたからこそ

B組 山中 貴哉



私達の代は今まで経験したことのない未知の感染症に見舞われた年でもありました。最初はどうして今なんだろうと、やり場のない不安や戸惑いが指圧の授業中にも溢れていたのを覚えています。

それでも負けなかったのは、きつと頑張っているクラスメイトや、一緒に積み重ねてきた時間があつたからです。

コロナの痛みさえ母心や勉強の材料にして、クラスメイトと一緒にこの困難を

が習得できる喜びを感じました。また実技では、クラスメイト29名それぞれの特徴的な押し方を全身で受けとめることもでき、決して一人だけでは体験できないことを多く学ぶことができました。

3年間の学習、実践を生かして「指圧」を通じて沢山の方々へ知ってもらい、身体疲れをとるだけではなく心も癒すことができるあん摩マッサージ指圧師を目指します。

日本指圧専門学校に入学することができて、熱心に教えて下さった先生方、3年間一緒だったクラスメイトに出会えたことをとても嬉しく思います。三年間本当にありがとうございました。

乗り越えていって、時には色んな事を手放しながら、やがてそれが前向きな気持ちや初心を思い出す原動力となって進んでいって、本当に悔いのない国試本番を迎える事が出来ました。

外来の人を施術することが出来なくなったり、それでも学ぶ機会を覚えて支えて下さった先生方に、無事に並んで卒業出来るクラスメイトに、そして指圧という文化にこれから携わる一員に今この代からなれたことに、改めて深く感謝申し上げます。

弱くなることも強くなることも本当に貴重な財産が詰まった大切な三年間でした。ありがとうございました。

五十歳の手習い

C組 豊田 美紀



五十歳を迎える時、その時に一番関心のある仕事に、余生を賭けてみようと考えていた。廃棄物処理業で生涯を終えるもの一局だが、軌道を外してみたいという好奇心もあった。亡父の写真帳には、戦中、戦後、高度経済成長から平成へと、激動の歴史が糊付けされていた。自分の礎が、連続とする時代の延長にあることに気づかされる。世代を超えた人と人の触れ合い、先人への感謝の思いを体現できる仕事として、指圧師を選んだ。

目標をもつ集団は、勢いづいた熱気球のよう、日々が楽しかった。皆のお陰で、三年間の道のりを完走することができました。机上に、『脳の中の幽霊』という本が置いてある。一年生の時に買ってみたが、難しくて挫折した本だ。卒業前の今、改めて手に取ると、多少なりとも内容が理解できる。不器用だった家族への指圧も、「指圧は気持ち良いねえ」と褒めてもらえるようになった。重い鞆を抱えて、通ったあの道々、目を閉じれば、「学生時代」の一節が流れて行く。最後の学生生活が終わる。今後は、生涯初心を座右に、半ばは己の幸せを、半ばは他人の幸せを願える指圧師を目指したい。学友へ、諸先生方へ、そして学校創設者である徳治郎先生に、心より感謝申し上げます。

地球に指圧の種を蒔く

D組 中村裕美子



『指圧の心 母ごころ おせば生命の泉湧く』ワツハツハー。小学生の頃、テレビで知った指圧師、浪越徳治郎先生は、ニコニコ笑顔でピカピカしていた。その時は、それだけの印象だった。ところが、現在に至る半世紀の間に色々な波に揉まれ転がり指圧の道に繋がった。細胞さん達の完璧な働きを知り感動はするものの理解することの大変さにクラクラした。指圧の時間は、『生命の泉湧く』実感に喜びも

溢れ美しい所作で行う浪越指圧が大好きになった。また、信頼できる療法を組み合わせるようになった。徳治郎先生が咲かせた指圧の花の種を受け取れた今、心身の神秘を更に深く理解することに努め真心込めて圧すことは、指圧の種が美しい花となり地球上の人々が真の健康とは何であるのかと考えるきっかけになれるよう日々精進して参ります。

最後になりましたが、先生方の情熱とユーマアに、そして、三年間一緒に頑張った学友に深く感謝申し上げます。今後共よろしくお願ひ致します。

令和三年三月

開業奮闘記

私の開業奮闘記

鈴木健介(61期生)

座右の銘は「旅するように暮らし、暮らすように旅する」。ふわふわと半生を送ってきた私にとって「指圧院の開業」という選択は大変挑戦的で革新的なものでした。ご縁があつて3年間で学ばせていただいた浪越学園の卒業タ イミングと、新型コロナウイルスの大流行という未曾有の災厄が重なつてしま い、この原稿を書いている時点では、2 回目の緊急事態宣言の真最中です。

よもやよもやの世知辛さ。私だけでなく会友の皆様ならびに在校生、特に国家試験に挑んだ受験生の皆様、そして教職員の皆様も何かとご苦労されたこととお察しいたします。さてさて、大変恐縮ながら東京都渋谷区に作夏オー プンした私の「アミケン指圧院」の開業奮闘記を、このたび寄稿する機会をいただきました。一事例としてご覧いただければ幸いです。

◆もともと私はメディアの編集者です。健康・医療の分野について「根拠に基づ く正しい情報」「良心的で明確なわ

かりやすい情報」を発信することが世の中をより良くし、健康で楽しく長生きする人を増やすことに繋がるのだと、使命感を持って活動してきました。メディアを通じて何万の人に情報を伝えることも大事ですが、目の前にいる1人の人間の笑顔をみることも大きなやりがいを感じ、国家資格あん摩マツサージ指圧師の資格取得を目指すことにしたのが2016年のことです。

◆「国家資格を取得したら、なるべく早く開業する」それが在学中におぼろげに描いていたプランでした。実際には浪越学園を卒業後は少しリフレッシュ期間を設け、海外旅行や東京2020オリンピック・パラリンピックを楽しみつつ、1年がかりで開業準備を進めるつもりでした。しかしコロナの影響により公私ともに様々な予定は停滞し、他に特にすることもありませんでしたので、自然と開業計画に集中・加速することになっていきました。



◆「商用利用可」「駅徒歩5分以内」といった条件で不動産情報を検索していると、都心部でありながら明治神宮、代々木公園、新宿御苑の緑に囲まれた、落ち着いた雰囲気のある物件に出会いました。これも何かの縁。内覧を申し込んでからはトントン拍子に契約手続きへと進んでいきました。不動産会社の担当者によると、ちょうどコロナの影響で取引マーケットが停滞中。交渉するには意外と良い状況だということお話ししました。

◆在学中のことですが、小林秋朝先生から「3つの愛」というお話をさせていただきました。指圧師としての仕事を愛すること、地元を愛すること、伴侶家族を愛すること。これは生前の浪越徳治郎先生が説かれたお話とのこと です。私は開業計画を進めるにあたり、この「3つの愛」の実現を軸としまし



た。仕事としての指圧を愛するには、日々の精進により確かな技能を修得し、患者様の笑顔を通して自信を深めていくしかないと思つています。卒業後は、家族や友人を相手に模擬実習を重ねました。また小林秋朝先生には個別指導をお願いし、地元密着で活動するとはどういうことか、家族から理解を得て協力してもらうにはどうすれば良いのか、何度もご相談に乗っていただきました。準備期間にいただいた様々なアドバイスは大きな心の支えとなりました。本当に感謝しています。



◆物件が決まり、2020年のお盆明けにオープン日を定めてからは、内装作業や販促物・ウェブサイト制作などに没頭しました。指圧院はアットホームで清潔感があり、なおかつ若い人にも指圧に親近感をもっていただけるようなテイストを目指し、コンセプトを固めていきました。渋谷区の保健所担当者はとても親切丁寧で、事前相談から立入検査まで非常に円滑に進行しました。一方で物件の方は管理組合の規則が細々とあり、看板設置の方法などで少々苦労したものの、無事にオープン日を迎えることができました。地元のお店にも入会し、オープン直後は商店会長さんが早速来院してくれました。浪越和民理事長からは開店祝いのお花を贈っていただきました。多く

のご縁に支えられ、おかげさまで開業指圧師としてのスタートラインに立つことができました。

◆「コロナ疲れ等の反動で、健康的な日常を希求する方々の寄り所となる指圧院を、このタイミングで構えておいて良かったね!」……と、いつかそう振り返られる日が来ますように。今はそれを信じて日々の種蒔きに励んでいます。まだまだ至らないことは多々あり、日々何か少しずつでも改善できることはないか模索しているところです。先輩後輩問わず、ご都合がつかましたらぜひ様子を見に来ていただけたら幸いです。また YouTube や Instagram といった SNS を活用した指圧の PR 活動も、長期的に考えられ

ば指圧界全体にとって大切なことだと考えています。一緒に何かアクションを起こしたいという方がいらつしやいましたら、ぜひお声がけください。日本指圧専門学校同窓会におかれましては、コロナの収束状況を見計らって、文化部の交流会を含め各活動が順次再開されることと存じます。その際には、また皆様とお会いできることを楽しみにしております。



アミケン指圧院
AMIKEN SHIATSU CLINIC & SOTAI SALON TOKYO

アクセス



- 東京メトロ副都心線「北参道駅」(出入口2) 徒歩5分
- JR山手線「原宿駅」(竹下口) 徒歩7分
- JR中央線「千駄ヶ谷駅」徒歩12分
- 都営大江戸線「国立競技場駅」(A4) 徒歩12分

開業奮闘記

TO自分

NYUWA指圧治療院 院長

竹内典和 (58期生)
竹内絵美 (58期生)

朝、院のシャッターを開けると朝稽古の熱を冷ますためにお相撲さんが院の前の通りを散歩しています。鬢付け油の甘い香りとマワシをつけて裸足で歩くお相撲さんの光景が毎日の楽しみです。

もうすぐ1周年を迎える私たちの指圧院、NYUWA(にゅうわ)指圧治療院は両国、出羽海部屋の2件隣にある指圧院です。NYUWA指圧治療院の名前の由来は身も心も『柔和』になれるお手伝いが、指圧を通して出来ます様にと思いを込めて付けました。聖書にも仏典にも『柔和』という言葉が出てくることで『柔和』であることが、いかにより良い人生に大切なことなのかを表しているように感じたからです。地中海の雰囲気が好きなので、白と青を基調に治療ベッドのブランケットは黄色にしてみたりとカラフルになっていきます。近くに幼稚園や保育園が多く、赤ちゃんが自由に動き回ったりしてベッドにも登れるように、低



めのベッドにもこだわりました。友だちの画家さんが描いてくれた、猫の絵が院をいつも明るくしてくれています。従業員は妻のえみ先生とわたしの2人。どちらも日本指圧専門学校卒業生です。

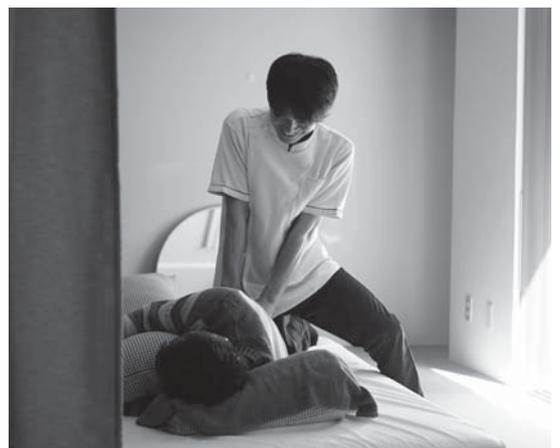
えみ先生とわたしは2014年に高校を卒業した18歳の時に日本指圧専門学校に入学しました。わたしは高校3年生の時に「指圧師になりたい」という思いを持ちました。職業体験授業

にマツサージの回があり、人も自分も健康に元気に出来るこの仕事に魅力を感じたからです。そんなわたしに比べてえみ先生はなんと13歳の頃からこの道を志していたそうです。13歳で重度の顎関節症に悩んだ彼女はお母さんに連れられて地元葛飾区の整骨院に向かいその時担当してくださった先生方に憧れ、指圧師の夢を持ったようです。中学生の時に日本指圧専門学校の見学会に行き、『中学を卒業したらすぐに入学させてください!!』と渡邊先生に無茶を言い、先生を困らせたのは今では笑い話になっています。彼女は開院したいという夢があったそうですが、それと同じくらい院長にはなりたくな



いという思いがあり、わたしが大抜擢(?)されたのです。

NYUWA指圧治療院は夫婦で開院した指圧院です。だからこそ、お互いの得手不得手を補い合うことを意識しています。例えばえみ先生は学生の頃は東洋医学や臨床総論などが好きだったそうで、患者さんの気血水の流れや習慣などで指圧方針を立てていくのが好きなのです。わたしは学生の頃から解剖学や生理学が好きで、患者さんの歩き方や今ある痛みから指圧方針を立てています。来院される患者様の中には、痛みを主訴とされる方もいらっしゃるけれど深く眠れないということを主訴にされる方もいらっしゃいます。そんな時にその患者様の主訴に合わせて、えみ先生が指圧したり、わたしが指圧したりが出来るのが指圧院としての強みになれていると良いなど感



じています。

そのため本来ならば一枠に2名の患者様をお迎えできませんが現在はNYUWA指圧治療院の感染予防策の一つとして、一枠に1名の患者様のみの治療にしています。経営的に考えるなら少し寂しさを感じますが、1人の患者様に60分間たっぷりと東洋医学が好きなえみ先生と、解剖学・生理学が好きなわたしで治療が出来たり、身体のことについてお話が出来たりするので良い面もあると感じます。

去年から始まったこのコロナ禍で、私たちの仕事・生活・プライベート・人生計画など全てが変わってしまいました。まっただ中は本当に悲しいことです。

よくJPOPなどで『悲しみの後には希望がある』という様な歌詞を目にしますが、そんな希望を最近ふと感じることがあるのです。その希望とは『予防医学への関心の高まり』です。

コロナが日本へやって来る前は、多少の熱があつたとしても体を引きずりながらも、会社や周りのためにと出社しなければならぬ風潮がありました。今そんなことをしようものなら大問題です。コロナが日本へやって来る前は、



身体が痛みを訴え、疲れが身体を重くさせたとしても、お医者様から大病として診断を受けるまで身体の不調を放っておく風潮がありました。免疫力が下がろうと身体が弱ろうと、日本人にとってそれは大きな不安要素ではなかったような感覚があります。多くの人にとって病気とは、『なつてから考えるもの』だったからです。だからこそ、わたしのお伝え力の不足もあるのですが「免疫力を高めましょう」「元気な身体作りをしましょう」とお話ししても患者様の心にしっかりと届いていない感覚がありませんでした。

しかしコロナが世界にやってきて、日本へやってきて、そんな風潮が変化を迎えました。『病にかかる前』が目され、『病にかかる前』に行動する意識が高まり感染予防のためのマスクや消毒液を多くの人が身につけるようになりました。そしてウイルスを防ぐことにプラスして、ウイルスに負けない身体作りが意識される雰囲気が出てきたように感じます。

「免疫力を高めましょう」「元気な身体作りをしましょう」という言葉の重みが患者様にとっても、わたしたち指圧師にとっても大きくなったように感じています。

また、『周りの人のためにも自分が健康でいること』の大切さも注目されています。同僚や恋人、友だちや家族が大切だからこそ自分の健康を大切にするという意識は、コロナ禍の前では少なかったように思います。逆に「周り

の人のため」であれば、自分の健康でもないがしろにしても良いような、まるでそれが美徳であるかのような風潮もあつた様に感じます。

『周りの人のためにも、自分のためにも健康でいること』に注目がされる今、全身を丁寧に指圧し、もつとご自身の身体に興味を持って頂き免疫力を高めていくお手伝いをする、という指圧師としての仕事が出来ているかもしれません。

また指圧師としてのもう一つの仕事として、患者様にとっての良い鏡になるといえるものがあるのではないかと思っています。多くの人がさまざまな理由で自分の心の声や体の声を無視し、気付かない様になって生きています。また自分の心身の状態に気が付かないでいる人もいるかもしれません。

鏡はありのままのその人の姿を映すものです。指圧されてはじめて、『わたしこんなに凝っていたんだ！』と驚かれる患者様がいらっしゃる様に、指圧を通して患者様の身体や心の状態を鏡の様にお伝えできたらなと思うのです。

「首のこの部分がこんなに凝っているのは、頭を前に落とす時間が長いのかもかもしれませんね」「そういえば最近、スマホで時間を潰すことが多いです」「お腹が硬くなっているのは、ストレッチのサインですよ」「そういえば意識してなかったけれど、私疲れているのかも...」自分の心身の状態に無関心になつている患者様にとっての、心身の代弁者であれたらいいなと最近よく感

じるのです。指圧によって脳が凝りを察知し、脳が筋肉の緩みを促してくれるように身体の仕組みから考えても、患者様に心身のSOSを知ってもらうことがより良い人生のお手伝いと言えるのではないかと思います。えみ先生もわたしも浪越学園を卒業して、あん摩マッサージ指圧師の国家資格を取得してまだ数年。NYUWA指圧治療院は、まだ1歳にもなりません。

まだまだな私たちですが、患者様にとってより良い鏡の指圧師になれるように精進していきたいと思えます！コロナ禍が終わりを告げ、お相撲観戦やちゃんこ鍋などで両国にお立ち寄りの際はどうぞ当院にも遊びにいらしてください。



同窓生からの便り

コロナに負けるな!
開業5年目の現状とコロナ禍での挑戦

第51期 箭内 健幸



2020年から
新型コロナウイルス
により世の中が
一気に変わってし
まいました。様々

な業種に影響が出た中、我々あん摩
マッサージ指圧師にも多大な影響があ
りました。そこで、卒業生の皆様も同
様な経験をされたかと思えますので、
コロナ禍での私の取り組みや心構えな
どを僭越ながら述べさせていただきます。

まずは、簡単に自己紹介としまして、
私は51期卒業後、7年の在宅専門治療院
にて施術や営業方法などを学び独立開
業しました。在学前や在学中も接骨院
や実費の治療院でも勤めていましたの
で、独立には10年強かかりました。
2021年には開業してから5年目と
なりますが、幸いにも1年目から集患
に困ることはなく治療院経営が出来て
います。指圧師は治療に対しては勉強

熱心ですが、
マーケティング
等の営業手法に
ついて学ぶ機会
が少ないように
思います。ただ、
独立開業するに
は学んだ方が良
いと実感してい



ます。たとえ良い治療の腕があったと
しても、それが患者様に伝わらなけれ
ば来てもらえないからです。
さて、私が日頃心がけている言葉が

『流れる水は腐らない』です。とにか
く行動を起こしていくようにしていま
す。開業してまず行動した事として、
地域の経営者の会(中小企業家同友
会)に入会しました。私は地元が東京
ですが、結婚を機に名古屋へ移りまし
た。名古屋には誰も知り合いがない
状況でもありましたので、地域密着を
するにも地域の経営者が集まる場所に
所属したほうが良いと思ったからです。
また、経営に関する勉強もしたいこと
も動機でした。また、在宅治療を通じ
て介護予防にも力を入れたい気持ち
が強まり、中部最大級の健康イベントの
運営にも実行委員として関わりまし
た。去年は初めてのオンライン開催とな
りましたが、2019年には3000名
以上の来場があり、多くの方に健康に

ついて布教することが出来ました。介
護予防に指圧師としてどう関わること
が出来るか? スポーツトレーナーや理
学療法士との繋がりを作れた中で新し
い道も出来ると感じています。

コロナ禍では、高齢者施設への訪問
が難しくなったことがありました(今
も訪問出来ないところもあります)。
また、対面することがリスクになった
ことで営業も控えるようになりました。
そこで、私はYouTubeを使っ
た経過報告を始めました。また、面会
できないご家族様に対してビデオ通話
やYouTube報告もサービスと
して実施しました。これは大変喜んで
いただけています。おかげさまでコロ
ナ禍でも関係なく、多くのご相談を頂
けています。

私は指圧の業界だけでなく、隣接業
種とも繋がりを作ったりすることは、
縦だけでなく横の幅が広がり、仕事と
しても無限の可能性になると思ってい
ます。そして、毎年行動によって前に
少しでも進むことが大事だと考えます。
今後、新型コロナウイルスだけでなく、地震な
どの災害はいつ起こるか分かりません。
何事もなく事業が継続できることはな
いと思いますし、何かあった時でも常
に変化して行動していく気持ちでいき
ましょう。医療従事者への感謝の気持
ちを一行入れて締めとします。

開業して10年が経ちました

第51期 木佐木淳平



51期ですので、
2010年の3月に浪
越学園を卒業しました。
2011年の3月に開
業しました。神奈川県
は初めて住む土地ですが、お店を開業
した鎌倉市は私が生まれた時からの本
籍地です。ご先祖が九州から移住して
きたときにご先祖と同じ職場の方々が
鎌倉のこの土地を好んで選んだよう
です。その土地を父が相続し、今は関西
に住んでいるので私が使わせてもらっ
ています。

私は関西から上京してまいりまし
たが、あん摩マッサージ指圧師になるた
めに上京しておりません。就職とか進
学の為じゃなくて、「好きなことを仕
事にしたいナー」という理由で東京に
移り住みました。だから、鎌倉で何か
しようとか思っていないんです。そ
れが26歳の時でした。で、その8年後、
いろいろあって浪越に入學する成り行
きとなりました。3年後に浪越学園を
卒業させていただき、その1年後、鎌
倉で開業しました。2011年3月の
ことでした。その後は、当分一人暮ら
しだったもので「ゆる〜」っと、とは
言えそれなりに踏ん張って売上を伸ば



そうと地域に食らいついておりました。でも、適度に「ゆる〜」っとしてました。お店の名前も、そのまんまですが「かまくら・ゆるむ〜」といえます（奥さんは「買い物の際に領収書に書いてもらう店名を言うのが恥ずかしい」そうです）。

2013年、浪越のクラスメートだった奥さんと再会し、「この成り行きは絶対に離したらアカン」と自分を鼓舞しつつ張り切っていたら奥さん、私と結婚してくださいました。こうなると、それまでに通った学校（小学校〜大学）では教わらなかった事が大事になってきました。自分がグループ活動が得意じゃない脳なのだと、心療内

科で教わったりしました。いつも奥さんから怒られていて、なんでなのかな、と思いき心療内科へ行ったのですが「ADD」傾向があるようですねといわれました。「二つのことに集中すると他に気がまわらない」という症状だそうです。結婚しなかったらこんな障害があることに気づきませんでした。でも、私は幸運でした。私のこのような性格は組織で働くことには不向きなのです。そして、私は自営業。子供が3人生まれたので、奥さんは従業員とはいえ、あくまで形式上のことです。組織の正反対です。アマ指師の資格を取って置いて本当に良かった。

とは言え、奥さんには失礼な態度を取っているはず。奥さんごめんなさい。中年になって、気づいたことがとても多いです。自営業という働き方には無限の可能性があります。よく言えば「社長じゃーん」ですが、雑用ワゴンオペの日々です。お金のこと。営業の事。税金のこと。患者様のこと。施術の事。事務作業のこと。業務委託のこと。どの項目も、日々忙しすぎて最低限の気配りしか出来ません。子供のころからマイペースですが、今後もマイペースは磨き上げていくしかありません。

マイペースは、悪い意味だと思っていました。マイペースな自分と付き

合っていくしかありません。最早マイペースは私の武器になっています。若い頃、大人は安定した確実な存在だと思っていました。しかし、47歳の今、私はまったく不安定で、不確実です。毎日、その都度考え、手を変え品を変え凌いでおります。「慣れる」という事があります。斬新な気持ちで日々立ち向かっています。私の業務は、ほぼ保険適用の訪問マッサージです。1日、10人ほどやると施術とそれに伴う事務作業で夜を迎えます。家事はほぼやらないので我ながらダメパートナーだと思っています。1日、6時間は寝たいのですが、眠れない日も多いです。6歳の息子の自転車の練習にもっと付き合いたいのですが、娘さまたちともっといちゃつきたいのですが。奥様ともっとお話ししたり、一緒にテレビを観たりお茶を飲んだりしたいのですが。

でも、幸せです。こんな生活を送れているのも、浪越学園に通ったからです。お仕事を通して、人のお役に立てている実感があります。両親、奥様、子供たち、家族、親戚、ご先祖、地域の皆様、患者様、業務上のつながりを持つ皆様、私をこの道へ導いてくださった恩師、浪越学園の教員先生方には感謝の気持ちしかありません。今後

も、施術と経営という事業の両輪を通

して地域に貢献していこうと思っております。

環境の変化にも対応できる 経営と必要とされる技術

第50期 青山 真康



この緊急事態の中で、運営している治療院の経営上おこなった対策、私自身の治療についての考えと患者さんへの還元、そして、この記事を読まれた方の今後の為に少しでも何か気付きがあればと思います。寄稿させていただきました。

まず、最初の緊急事態宣言が出された時は多くの患者さんが来院を自粛されました。そんな中でも必要として来院された患者さんが少なからずおりました。

その結果として一番大きな売上減少が4月でしたが5月から徐々に売上高が回復し7月にはほぼ例年の数値に回復しました。ご存知の「給付金」ですが、対象になる売り上げの減少にはなりません。給付金を貰わないのは得ではないと考えられる方もいると思います。しかしながら、ありがたいことに患者さんに必要とされ治療の要望が無くなる事がなかった為、



それに応えられることが徳と考えました。そして、問題が収束する迄を約5年と考え、まず3年生き残れる環境を整える必要があると判断し、緊急事態と不況の中での営業を予測して、営業時間短縮はありましたが、休業にはしませんでした。

しかし、経営の方としてはやはり厳しく、未曾有の問題に先行きも不透明でしたが、先代の経営陣のご助力もあり、まず3年生き残れる資金繰りの危機管理として融資の申し込みは早くから対応出来ました。幸いなことに信用金庫さんや、会計士さんもアドバイスなど手助けをしてくださいました。こ

うした頼りになる方々の助けが受けられる環境の構築も経営として必要なことだと思います。

未だに公共交通機関を利用して来院される高齢の方々の来院は出来ていませんが、比較的年齢の不高くない方や、お車で来院される方は前々からの衛生管理、感染症対策に納得していただいていた様で安心して来院されています。私個人の来院数の月平均は200を少し超える程ですが、毎年、年末は多く来院されるので250程の数になります。患者さんの信頼に応えられる様、自分の体調管理も大事です。

これだけの緊急事態でありながら患者さんが必要と考えて来院されるのは訳があると考えられます。それにはまず、何故、圧すのか、伸ばすのか。温めるのか、冷やすのか。自分の施術に明確な理を持って行っているかが問われます。ブレない知識と技術があるからです。

例をいくつか挙げると、野球のピッチャーは以前『肩を冷やしてはいけない』として夏でもジャンパーを着ていました。今はどうでしょうか？テレビ中継で試合後のピッチャーをご覧下さい。そして、こちらはかなりこっそりですが、健康のための飲料商品のCMでは以前『糖分、塩分、脂肪分を減らします』と言っていました。最近の

CMでは、減らさない方がいいモノが一つ、こっそりと消えています。おわかりいただけただろうか？

ヒトという生物が急に変わるわけはありません。地球の陸上を主に、二足歩行する動物です。地球上の物理現象の中で生命活動をしています。生理学も東洋医学もその中のものです。重力、圧力、熱、体積、これらの要素が身体の状態でどうなっているのか考え、施術や生活習慣のアドバイスとして患者さんに還元出来れば良いと思います。

24期 向井豪先生の 友希治療院を訪ねて

インタビューと文責 49期 中盛祐貴子

Q1. 治療院を開業したきっかけは？

私は、18歳の時に、父を亡くしました。父は、開業医の医師でした。



私は、物心ついた時から、父が患者を診察する環境で育てられたので、それも指圧師を志す大きな要因かもしれません。私は、大学時代、同級生と共同生活をしていました。空手部にいた同級生を見よう見まねで指圧をした経験があります。大学を卒業した後、当時、大分県由布市狭

間町にあった冷研リウマチ研究所(山内病院)にしばらく勤務をしました。ここでは「神経・筋疾患のリハビリテーションに関する研究」をテーマに研究をしながら、理学療法士の助手の仕事をしていました。そうした経験がきっかけとなり、指圧治療院を開業したくて、日本指圧専門学校に入学を決めました。

Q2. 開業当初の来院数を教えて下さい。
1ヶ月目は、67人。2ヶ月目は、98人です。主に口コミで来院数が増えました。

Q3. 開業してから現在まで、印象的な出来事は？

スポーツトレーナーとして大宮東高校の甲子園球児たちを指圧していました。彼らが、1993年の全国選抜高校野球大会で、見事に準優勝を果たしました。わがことのように嬉しかったです。を今でも覚えています。当時のサインボールや甲子園の砂は、治療院の中にも展示して大切に保管しております。また、口コミで春日部にあるバレエ団の先生が指圧を受けに来られました。その生徒さん達も指圧を受けにこられて、白鳥の湖を踊った時の写真を寄贈してくれました。こちらも当治療院で大切に展示させて頂いております。

Q4. 開業をなさって35年の長きにわ

たつて、自営業を継続されてこられた。その成功の秘訣は？

当初は、リウマチ患者の指圧を得意として経営しておりました。特に急性期の痛みを取る為の施術を得意としました。患者の症状を配慮して、ベッドの施術を中心に、訪問マッサージや出張も引き受けてこなしました。患者は、学校の教員や自営業、宗教学の患者など多岐に亘り来院しております。全ての患者と平等にお付き合いできるように、また常に偏見や差別をもたず接することを心がけております。患者との接遇で気をつけていることは、患者の気持ちに寄り添うこと、上から目線ではなく、世間話をしながら、同じ目線



でラフな感じを大切に、問診する時も分かり易く、患者の話を全部聞いてから、体に触れるようにしております。また、患者にとって相応しい圧はどの程度の圧なのか、刺激量が苦痛にならない程度に、自分の治療を押し付けないことを大切に施術しております。施術においても大事なことは、あくまでも患者に寄り添うことですね。

Q5・卒業後の進路を決める時に、大切なことは？

自分自身が、陸上選手で指圧の道を志す者もいれば、家族が介護を必要として志す者もおられるでしょう。いろいろなバックグラウンドが皆さんあると思います。指圧で生計を立てていくのは、本当に大変なことだと思います。この競争社会を生き抜いていく為には、技を磨くと同時に新しい自分なりの技を編み出すことが肝要です。そのためには、信頼できる指圧が上手な先生に、2〜3年間は修行をすることです。そうして臨床現場で、その先生の師事を仰ぎながら、直に学んでゆくことが最も大切です。

向井先生のインタビューを終えて

旧い卒業期と新しい卒業期、そして在校生が一丸となって、日本指圧専門学校と発展を紡ぎ、将来を共に築きたいと願わずにはられない心境となりました。

寄付金賛助者ご芳名

令和二年度 二四五件

六四八、〇〇〇円

御芳名掲載をもって御礼と領収の証とさせていただきます。○数字卒業期(敬称略、順)

☆八千円

⑧仁科義介②服部(町田)

⑧仁科義介②服部(町田)

⑧仁科義介②服部(町田)

⑧仁科義介②服部(町田)

⑧仁科義介②服部(町田)

☆一万八千円

②7川原善次郎④3佐藤敏子

☆七千円

⑤6河北剛

☆一万三千円

③1山越健司④4渡辺豊

☆六千円

④2伊藤次雄

☆一万二千円

⑤0岩本健一

☆五千円

②1大庭新治②5鶴見せつ子

☆一万円

⑭14若杉ミイ⑬17小林秋朝⑬18

④0小谷田作夫⑤2宮下みち子⑤8安保勝⑥1竹崎美香

②2広本義人②2高坂貞造②3山

☆四千円

⑬19飯島幸雄

⑤5雪田紘平⑤9西岡善史

④2好子④2馬場雄一④4齋藤浩

☆九千円

④6小林勇雄

☆三千円

④4村越(井上)てい子⑥6海

津新之助⑬15川上千代子⑬16

中村健一⑬16入山君子⑬18原

忠雄⑬19小野寺英男⑬19舟津

昌亮⑬19高橋(長尾)葉子⑬20

海上富雄⑬20武藤圭子⑬20佐

久間健司⑬21相野谷眞⑬23馬

場正義⑬24上野末次⑬24向井

豪⑬24藤森増雄⑬28結城國夫

②9関根康博③2石井ヒサエ

③5中山節③5木暮晴雄③6栗

村輝子③7平野広樹③7石塚

怜子③8齋藤咲都志③8木村

龍一郎③8柳生田忠志③9大

谷浩二郎③9横川純夫③9柴

田ひろみ④1柳生田忠生④3

森近大輔④4小松和幸④4休

宮清彦④5北條崇成④7當麻

康江④7芦川洋司④9中盛祐

貴子⑤2宮下麗子⑤3神田裕

幸⑤3河内誠二⑤3石田浩⑤4

黒田尚美⑤4高野良治⑤5宮

下英敏⑤6姫路雄紀⑤6角本

靖司⑤7小泉浩記⑤8福田慎

一郎⑥1新澤貴美⑥1山田佳

☆二千元

①1細谷節子①1村松カチ子

④3三浦るり子⑬16長瀬治郎

⑬17糸井正子⑬21小美濃隆⑬23

高橋耕作⑬25糸井主好⑬26佐

藤優⑬27柴田俊久⑬31田中伸

明⑬38狩野かよ子⑬39佐瀬由

香里④1岡崎(藤野)京子④2

金井俊潔④4小野朋子④5諸

橋匠④5大森紀代子④5高内

英美④5山崎陽④6川島健嗣

⑤3長谷部佳代

☆一千元

(学院) 上村昭郎

①阿部サト④山川友枝⑥

石原和信⑬2岩切秀樹⑬3斉

藤轟⑬13鳥実専二⑬16濱田

洋⑬17平井伸穂⑬17戸来みや

子⑬17平井(市川)浩子⑬17萩

原嘉寿代⑬18堀江秀樹⑬18村

岡曜子⑬18阿部はるみ⑬18片

山晶子⑬18田代陽一⑬19天海

誠⑬19佐藤玄祥⑬19千葉主⑬19

榎本紀次⑬20河合静子⑬20渡

部武利⑬20青木豊⑬21川本博

子⑬22田中育子⑬22高木二郎

⑬23中村一夫⑬24中村(岡崎)

陽子⑬24胡桃愛子⑬24田川博

⑬25北村雅彦⑬25関伊智朗⑬25

山田三義⑬25工藤文宏⑬26笠

原正親⑬26小山内(河辺)多

美江⑬26杉山保雄⑬26青山晴

基⑬27鈴木(工藤)民江⑬27内

城勇造⑬27内山直行⑬29亀田

和代⑬30安藤富士男⑬30福安

志泰⑬32宇佐美康夫⑬32小野

紘緑⑬32広明文夫⑬33梅枝

(森藤)千代子⑬34西海泰子

⑬34大城裕子⑬36岡崎浩二⑬36

小山郁子⑬37末永洋子⑬38荒

木麻那美⑬38小林信行⑬38本

間陽一⑬38松本喜照⑬38森本

和男⑬39湯口信雄⑬39関谷進

司⑬39齐坂京子⑬39鶴田弘二

④1鈴木喜也④1瀬田松悦子

④2相澤寛和④3藤野芳郎④3

上田康弘④3柏崎初子④3中

田健二④3相澤文隆④3中野

俊夫④3柳将博④4佐久間崇

④4石井勝雄④4入江徹④4長

島明④5小林章一④5鈴木喜

美子④5前田孝男④6岡野昭

④6重森祐二④7荻原卓矢④7

稻生妙子④8初澤浩一④8水

野(佐藤)恵里④8星野智④9

大島和夫④9角伸浩④9込山

哲郎④9藤本かおる④9市原

佑里④9竹内高雄④9田中慶

篤④9岡本京子④9大岩治男

④9岩井満④9立部正則④9永

井努④9岩田明日香④9寺内

由香④9丸山一郎④9小野悠

一④9佐野忠優④9加藤恵美

子④9熊田(永瀬)友香子④9

濱田大輔④9竹内隆子④9伊

藤勝基④9土屋貴洋④9大平

和雄④9嘉手苜悟④9笠井謙

次④9関根由記子④9平田玲

子④9遠藤登④9喜多野智之

④9前田孝政④9中村愛④9佐

藤保④9吉富和徳④9清水健

汰④9岡庭幸正④9杉山佳延

④9前田哲也④9砂山典子④9

関澤峰大④9町田和行④9丸

山理恵④9野上有子④9福田

隆雄④9森岡健

予算・決算・収支報告書

予算案

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

収 入 の 部			
	令和2年度予算	令和2年度決算	令和3年度予算
前年度より繰越	6,302,108	6,302,108	6,386,174
入 会 金	1,290,000	0	1,050,000
運 営 費	900,000	794,000	800,000
総 会 収 入	0	0	0
預 金 利 息	40	46	50
そ の 他 収 入	0	0	0
寄 付 金	700,000	648,000	700,000
講 習 会 費	0	0	0
収 入 合 計	9,192,148	7,744,154	8,936,224
支 出 の 部			
	令和2年度予算	令和2年度決算	令和3年度予算
総 会 費	0	0	0
講 習 会 費	0	0	500,000
会 報 発 行 費	1,200,000	1,063,249	1,200,000
通 信 費	400,000	84,426	300,000
印 刷 費	40,000	13,500	30,000
渉 外 費	100,000	0	50,000
交 通 費	250,000	400	100,000
慶 弔 費	50,000	10,000	30,000
事 務 用 品 費	30,000	418	30,000
雑 費	50,000	0	30,000
情 報 管 理 費	200,000	149,987	200,000
役 員 会 議 費	30,000	0	20,000
設 備 使 用 料	36,000	36,000	36,000
予 備 費	100,000	0	50,000
新 規 事 業 費	600,000	0	50,000
事 務 活 動 費	50,000	0	30,000
支 出 合 計	3,136,000	1,357,980	2,656,000
次 年 度 繰 越	6,056,148	6,386,174	6,280,224

令和3年3月31日

日本指圧専門学校同窓会

会 長 岩 本 健 一 印
会 計 高 橋 雄 輔 印
青 木 美 稚 子 印
監 査 渡 邊 和 雄 印
角 本 靖 司 印

貸借対照表

令和3年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 資 産 の 部	
現 金	19,476	新 規 事 業 引 当 金	0
三 菱 東 京 U F J 普 通 口	3,281,327	(正 味 資 産 の 部)	
ゆ う ち ょ 銀 行	3,085,371	余 剰 金	6,386,174
合 計	6,386,174	合 計	6,386,174

収支報告書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

収 入 の 部			
	令和2年予算	令和2年決算	内 訳
入 会 金	1,290,000	0	
運 営 費	900,000	794,000	2,000円×397名分
総 会 収 入	0	0	
預 金 利 息	40	46	三菱東京UFJ ゆうちょ銀行 普通口座利息
そ の 他 収 入	0	0	
寄 付 金	700,000	648,000	
講 習 会 費	0	0	
当 期 収 入 合 計	2,890,040	1,442,046	A
前 期 繰 越 収 支 差 額	6,302,108	6,302,108	B
収 入 合 計	9,192,148	7,744,154	A + B
支 出 の 部			
	令和2年予算	令和2年決算	内 訳
総 会 費	0	0	
講 習 会 費	0	0	
会 報 発 行 費	1,200,000	1,063,249	会報第41号 旭出版
通 信 費	400,000	84,426	郵便別納料金、振込手数料
印 刷 費	40,000	13,500	会報発送用封筒印刷 旭出版
渉 外 費	100,000	0	
交 通 費	250,000	400	交通費
慶 弔 費	50,000	10,000	母校へ卒業式祝い金
事 務 用 品 費	30,000	418	今井文具店 領収書、封筒
雑 費	50,000	0	
情 報 管 理 費	200,000	149,987	名簿データ作成、ホームページサーバーレンタル料
役 員 会 議 費	30,000	0	
設 備 使 用 料	36,000	36,000	母校へコピー機、電話等施設利用料として
予 備 費	100,000	0	
新 規 事 業 費	600,000	0	
事 務 活 動 費	50,000	0	
当 期 支 出 合 計	3,136,000	1,357,980	C
当 期 収 支 差 額	-245,960	84,066	A - C
次 年 度 繰 越	6,056,148	6,386,174	A + B - C

同窓会総会中止のお詫び

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で多くの社会活動が停滞し、今なお混迷が続いています。日本指圧専門学校同窓会も、新型コロナウイルス感染症の鎮静化を期待しつつ、何とか活動の可能性を模索しておりましたが、感染予防の観点から何も活動できずに令和2年度を終えるに至りました。例年であれば総会にて活動報告、活動計画、年度決算報告、予算審議等をいただき年度の節目を迎えるところですが、前年度に続き令和3年度も感染症予防及び医療に携わる団体としての社会的責任の観点から総会開催中止を決定いたしました。令和2年度同様に会長、副会長、幹事長による新年度の暫定的な対応をさせていただきますので、会員の皆様におかれては引き続きご理解のほどお願い申し上げますとともに、同窓会総会中止についてお詫び申し上げます。

日本指圧専門学校同窓会 会長 岩本 健一

令和4年度 AO入学試験日程

試験区分	エントリーシート 受付期間	入試日	結果通知	合格内定者 出願期間	結果通知 予定日	入学手続 締切
第1次募集	6月1日(火) ～6月10日(木)	6月13日(日) 午前9:30～	6月18日(金)	9月1日(水) ～9月7日(火)	9月10日(金)	9月24日(金) まで
第2次募集	6月21日(月) ～7月7日(水)	7月10日(土) 午後1:00～	7月16日(金)			
第3次募集	7月20日(火) ～8月3日(火)	8月6日(金) 午前9:30～	8月13日(金)			

令和4年度 入学試験日程

試験区分	入学選考日	出願期間
社会人入試 [第1次募集]	2021年9月12日(日)	2021年9月1日(水)～9月9日(木)
推薦入試 社会人入試 [第2次募集]	2021年10月17日(日)	2021年10月1日(金)～10月14日(木)
一般入試 [第1次募集]	2021年11月14日(日)	2021年11月1日(月)～11月11日(木)
一般入試 [第2次募集]	2021年12月11日(土)	2021年11月29日(月)～12月8日(水)
一般入試 [第3次募集]	2022年1月15日(土)	2022年1月6日(木)～1月12日(水)
一般入試 [第4次募集]	2022年2月13日(日)	2022年2月1日(火)～2月10日(木)
一般入試 [第5次募集]	2022年3月6日(日)	2022年2月28日(月)～3月3日(木)

*詳しくは学校ホームページをご覧ください。日本指圧専門学校までご連絡いただければ説明させていただきます。(TEL03-3813-7354)

編集後記

青い空と白い雲、爽やかな春風を浴びながら外出やドライブに絶好の気候となり、身も心もウキウキして来る季節となりました。

しかし、昨年来から我々人類を大きく脅かす新型コロナウイルスによって我々の生活も大きく変化せざるを得なくなりました。

同窓生の先生方も、うがい、手洗い、消毒、換気は勿論のこと、様々な感染予防対策をされ、苦境と言ってもよい環境の中、指圧魂を胸に刻み、頑張っておられる事と存じます。こんな苦境に遭遇した時こそ我々の指圧による自然治癒力の向上が必要なのではないでしょうか!!

昨年度は同窓会としての活動ほとんど出来ませんでした。しかし、今年度はこのような環境においても実現できる方法で実技講習会も企画を進めております。

また、会報誌も例年通り第42号を発行でき、嬉しく思います。開業奮闘記や同窓生からの便りに紙面を大きくさき、このような環境での経営のご苦労話や将来設計など同窓生の先生方にお役に立てばと思っております。

こんな時こそ、我々は指圧師としての同士です、力を合わせてこの苦境を乗り越え、平和な世界を築き、実現して行く為頑張りましょう。

(金子智久)